火曜午餐会忘年の会

火曜午餐会・12月例会は、忘年の会として１日12時15分から当部５階大会議室にて催し、今年１年の活動を締めくくった。

まず最初に、菊池会長が御礼の言葉と共に「コロナで団体のほとんどが行事を中止している。経済倶楽部は、皆様のご協力のもと、感染対策をしながら午餐会を再開し、無事、忘年の会を迎える事が出来て感謝している。時節柄お酒は出せないが、楽しいひと時を過ごして頂きたい」と挨拶。続いて豊澤副会長が御礼の言葉と共に「今年はコロナで大変な年だったが、皆様お元気でご越年くださり、来る2021年が素晴らしい年となりますように」と乾杯のご発声。例年は立食・歓談で親交を深めて頂いたが、今年は着席での弁当形式で「静かなマスク会食」をお願いした。

ゲストは奈良フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト袴田さやかさんとピアニスト岡野弥生さん。大原末子団長の挨拶の後、厳かに演奏が始まった。

①「タイスの瞑想曲／マスネ―」オペラ「タイス」の間奏曲でヴァイオリンの独奏で有名。

②「ジュピター／ホルスト」水星、金星、火星、木星、土星、天王星、海王星の７楽章からなる組曲「惑星」の中で最も知られる木星。
日本語の歌詞を付けて平原綾香が歌っている。

③「『カヴァレリア・ルスティカーナ』の間奏曲／マスカーニ」イタリアの小説家ジョヴァンニ・ヴェルガ原作のオペラ。

④「モア―／オリヴィエロ＆オルトラーニ」
1962年公開のイタリア映画「世界残酷物語」のテーマ曲。

⑤「愛燦燦／小椋佳」美空ひばりの代表曲の一つ。

⑥「ニューシネマパラダイスメドレー／エンニオ・モリコーネ」
1988年公開のイタリア映画の音楽。

⑦「イパネマの娘／アントニオ・カルロス・ジョビン」ブラジル出身のジョビンが1962年作曲したボサノヴァの歌曲。

⑧「クンパルシータ／ロドリゲス」ウルグアイ出身のロドリゲスが作曲したタンゴを代表する古典曲。

⑨「情熱大陸／葉加瀬太郎」人間密着ドキュメンタリー番組「情熱大陸」のテーマ曲。ヴァイオリニスト葉加瀬太郎の代表作。

以上９曲の袴田さんと岡野さんの息の合った演奏は、幅広いジャンルで耳慣れた曲が多く、あっという間の30分だった。

最後に、大原団長は「音楽は心のビタミンであり、生きる力です。奈良唯一のオーケストラとして結成して35年、頑張っております奈良フィルをどうぞよろしくお願いします」と挨拶された。

ヴァイオリンと電子ピアノの生演奏という、贅沢な時間を過ごし、音楽の力で心癒された出席者は、演奏者に大きな拍手を送り、来年の再会を約束して忘年の会を終えた。

【袴田さやかさん】

京都市立芸術大学音楽学部弦学科卒業。霧島国際音楽祭に二度、ニース国際音楽アカデミーに三度参加、フランス各地でコンサートに出演。奈良フィルとサン・サーンスのヴァイオリンコンチェルト、八尾フィルとモーツァルトのシンフォニーコンチェルタンテを共演。ソロリサイタルを二度、Duoリサイタルを三度開催。奈良フィルハーモニー管弦楽団団員。

【岡野弥生さん】

相愛大学器楽学科ピアノ専攻卒業。カリアリ夏期国際音楽アカデミー（イタリア）や、秋吉台国際音楽ゼミナール（山口）等で研鑽を積む。これまでにソロリサイタルや室内楽リサイタルを開催の他、奈良フィルハーモニー管弦楽団や橿原交響楽団とピアノ協奏曲を共演。また奈良市キッズコンサートや大阪市子育て事業「ママのためのお気軽クラシック」などに出演。香芝市ふたかみ市民オペラの伴奏も務める。アンサンブルcoto、かりんからん、各ピアノ奏者。奈良フィル所属ピアニスト。

《プロフィール》

特定非営利活動法人
奈良フィルハーモニー管弦楽団

奈良フィルハーモニー管弦楽団は、「奈良にプロ・オーケストラを！」と、志ある音楽家たちが集い、1985年に結成したプロ・オーケストラ。メンバーは、高度な音楽教育を受け、ソロやアンサンブル等にも活躍する他、積極的に後進の指導にもあたっている。

奈良での演奏会も定着し、その音の美しさと緻密なハーモニーは、聴衆から高く評価をうけている。

奈良県主催「なら・ミュージックフェスティバル“石丸 寛”トーク＆コンサート」、「オープニングフェスタ“宮川 泰”ハッピーコンサート」、「“山本直純”のゆかいなコンサート」に出演。20世紀最後の大晦日に生駒市でカウントダウンコンサートに出演、2001年「宝くじコンサート・奈良フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会」に出演、同じく、斑鳩町文化振興財団主催「奈良フィル＆オリヴィエ・シャルリエコンサート」に出演。

同年６月大和郡山市21世紀記念事業「第九演奏会」に出演。以後2002～2005年、やまと郡山城ホール主催「大和郡山市民第九演奏会」に出演。

また、’99年、2000年、2001年香川県仲南町に招かれる。「子と親の楽しいコンサート」を各地で開催し、青少年の情操教育にも力を入れている。

日本を代表する指揮の秋山和慶氏と世界的なヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエ氏を迎えての20周年記念第15回定期演奏会は、大好評を博した。

やまと郡山城ホールにおいて2002年より毎年ニューイヤーコンサートに出演。

2006年から始まった「なら燈花会プロムナードコンサート」に指揮者 金聖響、横島勝人、阪哲朗、矢澤定明、和太鼓奏者 林英哲、ピアニスト メジューエワ、近藤嘉宏、仲道育代、小川典子、横山幸雄、ジャズピアニスト 山下洋輔、二胡奏者 チェン・ミン、テノール歌手 錦織健、ヴァイオリニスト 川井郁子、チェリスト 宮田大と共演。

2008年10月東大寺大仏殿前に於いて、東大寺世界遺産登録10周年記念コンサートに出演。第１回「ならピ！」に出演。2013年より奈良県主催「ムジークフェストなら」に県民一般公募の合唱団と第九を演奏。その美しく迫力ある演奏に好評を博す。

2015年11月１日青島広志氏を迎えて奈良フィル30周年特別記念演奏会を開催。

30周年のお祝いに相応しく楽しいコンサートに会場が一体となり、大成功を収めた。

’97年に第１回定期演奏会を開催し、以降、年２回のペースで定期演奏会と、月１回のサロンコンサートを開催。

結成当初の「もっと楽しいコンサートを！」を今もモットーに、近畿一円の公共団体及び各種団体からも招かれ、演奏活動を行っている。

奈良県のプロ・オーケストラとして日本オーケストラ連盟に籍を置く。

日本オーケストラ連盟準会員。